

平成 19 年度 (2007)

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

日 本 史

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A (マークシート) と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A (マークシート) の受験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A (マークシート) への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A (マークシート) の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。
(解答例) と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 の ③ にマークすること。
なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。
例えば、空欄 の解答が 3 6 の場合、解答欄 の ③ にマークし、解答欄 の ⑥ にマークする。
 5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
 6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

①
②
●
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

律令制度の基本である (1) (2) では、戸を単位として6歳以上の男女に口分田が班給され、本人の死亡後は国家に没収された。しかし人口の増加に伴って口分田が不足した結果、収入増加のため土地制度の見直しが必要になった。その結果、723年の (a), 743年の (b) によって土地の私有が認められることになった。この法律は、政府の掌握する田地を増加させるための積極的な政策であったが、他方貴族や寺院の私有地拡大が進むことになった。特に、一部の大寺院は、(3) (4)、郡司と協力して大規模な灌漑を行った。これを (5) (6) と言う。

これに対して11世紀になると、有力農民は (7) (8) として広い地域を支配した。その後その多くは (9) (10) として国衙の行政に進出したが、土地を中央の有力者に寄進して、自らは (11) (12) として実質的な荘園管理を行う者も現われた。こうして生まれた (13) (14) の中には、有力者の権威を背景に、税を免除される (15) (16) や、(3) (4) の使用者の立ち入りを拒否する (17) (18) を認めてもらうところもあった。^(ア)後三条天皇は、この様な荘園の増大が (19) (20) を圧迫しているとして、1069年に (21) (22) を出した。その結果、国、郡、里で構成されていた一国の編成は、荘園と (19) (20) とで構成される体制に変化した。しかし院政期になると上皇周辺や有力貴族、大寺院の周辺に (13) (14) が集中し、荘園の独立性が強まった。

平安時代の地方政治の変化の中で、地方の豪族や有力農民は、自分の土地を守るために武装し、武士団(イ)をつくり上げた。朝廷や貴族は、こうした武士団を利用して地方の治安維持を図る一方で、侍として警備を行わせた。その後、院と朝廷をめぐる政界の対立から、(23) (24) 年に保元の乱が起こり、(25) (26) 年に平治の乱が起こるが、乱の結果、貴族社会内部の争いも武士の力で解決されることが示された。その後、太政大臣まで昇進した (27) (28) を初めその一族も皆高位高官に上り、平氏政権が誕生した。しかしこの政権は、多くの (29) (30) や荘園を経済的基盤としたことや (27) (28) が (31) (32) の外戚として権力をふるったことなど、貴族的性格が強かった。そのことが (33) (34) や院の近臣、貴族達との対立を深め、源平の争乱を引き起こすことになった。

源頼朝は、(35) (36) 年の平氏滅亡後、(33) (34) から、諸国に (37) (38) を、荘園や (19) (20) には (39) (40) を任命する権利や、国衙の実権を握る (9) (10) を支配する権利を獲得した。(37) (38) は、原則として各国一人ずつ任命され、治安の維持や警察権の行使、地方行政などが仕事であった。(39) (40) は年貢の徴収、納入や土地の管理を行った。源頼朝は1192年征夷大將軍に任ぜられ、鎌倉幕府を開いた。幕府の基本は將軍と御家人との主従関係である。將軍は、(c) や新恩給与によって御家人の所領支配を保障し、御家人は戦時には軍役を、平時は鎌倉番役や (d) などを勤めた。^(ウ)この様に土地の給与を通じて主人と従者が結ばれる制度が封建制度であり、鎌倉幕府によって初めて封建制度が国家制度として成立した。

[A] 文中の空欄 (1) (2) ～ (39) (40) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (1) (2) の解答が 19 だとしたら、解答欄 (1) は 1 をマークし、解答欄 (2) は 9 をマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|--------------|
| 11 安徳天皇 | 12 入会権 | 13 院分国 | 14 延喜の荘園整理令 |
| 15 延久の荘園整理令 | 16 開発領主 | 17 管領 | 18 寄進地系荘園 |
| 19 検非違使 | 20 検田使 | 21 公領 | 22 国司 |
| 23 国人 | 24 後白河法皇 | 25 後鳥羽上皇 | 26 後村上天皇 |
| 27 在庁官人 | 28 地頭 | 29 守護 | 30 守護代 |
| 31 守護大名 | 32 荘官 | 33 初期荘園 | 34 所司代 |
| 35 白河天皇 | 36 崇徳上皇 | 37 雑役免荘園 | 38 惣領制 |
| 39 平清盛 | 40 平貞盛 | 41 平知盛 | 42 平正盛 |
| 43 高倉天皇 | 44 探題 | 45 知行国 | 46 田畑永代売買の禁令 |
| 47 鳥羽法皇 | 48 半済令 | 49 班田収授の法 | 50 不入の権 |
| 51 不輸の権 | 52 分地制限令 | 53 本家 | 54 領家 |
| 55 1153 | 56 1154 | 57 1155 | 58 1156 |
| 59 1157 | 60 1158 | 61 1159 | 62 1160 |
| 63 1184 | 64 1185 | 65 1186 | 66 1187 |

[B] 文中の空欄 (a) ～ (d) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

[C] 下線部 (ア), (イ), (ウ) に関して以下の設問に答えなさい。

- (ア) 後三条天皇が、荘園を整理するために設けた機構の名称を、解答用紙 B の所定の解答欄に漢字 7 文字で書きなさい。
- (イ) こうした武士団は、さらなる連合体を形成する過程で、主として都から地方に住み着いた中・下級貴族の出身者をその中心として仰いだ。こうした武士団の中心になった者達をどの様に言うか、彼らの名称を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (ウ) 御家人が一族存命の拠り所に命をかけて土地を守ろうとしたことをどの様に言うか、解答用紙 B の所定の解答欄に漢字 4 文字で書きなさい。

II. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

1639年にポルトガル船の渡航が禁じられるのに続き、オランダ人が1641年より、 から に移転させられて、西洋との唯一の媒介となった。日本との交流は、最初は主にポルトガル語でなされたが、それから長崎（ e ）制度が成立して、オランダ語でなされるようになった。しかし 年に禁教令が全国に及んで以来、異国事情・学問はキリスト教との関連が疑われ、その出回りは厳しく制限されていた。第8代将軍徳川吉宗によってようやく圧力が軽減され、蘭学の誕生に相応しい環境が整った。

18世紀半ばごろには、従来の中国医学に基づいた人体観に疑問が示されていた。そうした中で、1754年には既に京都で の下で解剖が行われていた。1771年に ^(オ), ^(エ) などが小塚原の刑場で 解剖を見学した際、参照していたオランダの解剖書の正確さに驚いた。早速その本の翻訳にとりかかり、ついに1774年に（ f ）として刊行された。その刊行は蘭医の輪を越えて、医学の土台に解剖を置くべきという斬新な訴えであった。一方、この作業は狭義での翻訳にとどまらない。まだその頃に 蘭日辞書もなく、さらに翻訳者のオランダ語の語彙や文法が限られていた。翻訳としては1826年出版の ^(キ), の門下 による（ g ）がより忠実である。しかし、中国語にも日本語にもかつてない概念の理解に挑戦した結果、現在の医学用語の中に、 などのように、その時の造語が多く残っている。

蘭学の発展に重要な役割を果たしたと言われるのは、 年からの 医師シーボルトの日本滞在である。彼は 年まで で、週に一回教授活動の傍ら診療も行った。シーボルトは、東インド会社の思惑を含んだ研究のために塾生に日本の風習などについて様々な蘭語文章を書く事を求めた。貧困且つ優秀である事を条件に塾に下宿が許されていた塾生にその依頼が特に来たと言われる。こうした貧しい塾生の一人であった陸奥水沢出身の は、外来思想を探究している人々と権力との間に生じる摩擦のため、危険にさらされることになった。シーボルト事件の際、塾生が何人か罰せられ、塾自体が閉鎖された。多くの蘭語文章を提供していた ^(ク) は熊本へ逃亡し、その後江戸で、画家で田原藩の海防に勤めていた と知り合い、そして と共に蘭学を研究した。彼らは（ h ）に参加していたが、『慎機論』と『戊戌夢物語』の執筆などを理由に、三人とも命を落とす事になる。^(ケ)

19世紀の蘭学の置かれた状況は が「わすれがたみ」（『日本思想大系55』岩波書店、1971年、p.182）で「総じて蘭学に関係する事は、その罪軽くしてその罰重し」と顧みるように、いわゆる危険思想に対する抑制であり、明治末期に起きた大逆事件と照合すれば、「少数意見に対する権力の態度の持続性」（『文学史序説（下）』加藤周一著作集5』平凡社、1980年、p.248）が認められる。^(コ)

〔A〕 文中の空欄 (41) (42) ～ (69) (70) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (41) (42) の回答が 19 だとしたら、解答欄 (41) には 1 をマークし、解答欄 (42) には 9 をマークしなさい。

《語群》

11 イギリス人	12 稲村三泊	13 宇田川玄随	14 浦賀	15 衛生
16 大槻玄沢	17 緒方塾	18 荻生徂徠	19 小田野直武	20 オランダ人
21 桂川甫周	22 賀茂真淵	23 慶應義塾	24 護園塾	25 小関三英
26 骨髓	27 後藤良山	28 三焦	29 司馬江漢	30 渋江抽斎
31 島原	32 下関	33 芝蘭堂	34 松下村塾	35 スウェーデン人
36 杉田玄白	37 大腸	38 高野長英	39 築地	40 適塾
41 適々斎塾	42 出島	43 ドイツ人	44 中川淳庵	45 鳴滝塾
46 軟骨	47 橋本左内	48 バタヴィア	49 平賀源内	50 平戸
51 堀川塾	52 前野良沢	53 本居宣長	54 山脇東洋	55 横浜
56 吉雄耕牛	57 和田塾	58 渡辺崋山	59 1604	60 1606
61 1613	62 1637	63 1638	64 1812	65 1815
66 1823	67 1825	68 1828	69 1833	70 1834

〔B〕 文中の空欄 (e) ～ (h) に入る最も適切な語句を、解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

〔C〕 下線部 (エ) ～ (コ) に関して、以下の設問に答えなさい。

- (エ) この中国医学での人体観を指す表現を漢字 4 文字で解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (オ) その解剖に基づいて 1759 年に刊行された解剖図録の題名を、解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (カ) この単語は現在の言い方である。当時一般的であった言い方を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (キ) 日本最初の蘭日辞書の名称を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (ク) シーボルト事件のきっかけとなった地図の入手に関与した、幕府の天文方を務めていた人物の名前を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (ケ) この出来事は何と呼ばれるかを解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。
- (コ) それ以降いわゆる「冬の時代」を迎える思想・運動の名前を、漢字 4 文字で解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

今日のメガバンクの起源は、明治時代にまで遡ることができる。

1872年、国立銀行条例が公布されると、翌年には (71) (72) 国立銀行が設立され、後に初代頭取として (i) が就任した。1876年、華・氏族の秩禄が廃止され、その代償として (73) (74) が支給されるようになるとともに国立銀行条例が改正された。これによって国立銀行の設立が急増して1879年の (75) (76) 国立銀行の設立に至るが、これらは後に普通銀行に転換することになる。

またこれとともに (j) を始祖とする江戸時代からの呉服店・両替商は日本初の私立銀行である (77) (78) 銀行を発足させた。そして両替商 (k) は1876年、後に合併する (79) (80) 国立銀行と、1880年には (81) (82) 銀行の前身を設立した。1870年に (l) が設立した海運事業に始まる財閥から1880年に (83) (84) 銀行の前身が成立した。そして4代目 (m) による (85) (86) 銅山の発見で富を増した江戸時代からの銅商・両替商からは1895年に (87) (88) 銀行が設立された。

そして産業・貿易の振興のために特殊銀行が設立され、1880年に営業を開始した (89) (90) 銀行は、1887年に貿易金融を目的とした特殊銀行となり、後に為替統制の中心機関となる。また (91) (92) の賠償金を準備金として金本位制を定めた1897年には、農工業を改良発展させるために (93) (94) 銀行が、そして翌年以降、各府県に (95) (96) 銀行が設立されるが、これらは後に前者に吸収されることになる。さらに1902年に産業資本の長期融資機関として (97) (98) 銀行が設立されるが、これは第2次世界大戦後、長期信用銀行に転換することになる。

1927年に金融恐慌が起こり、規制強化の為に 銀行法が施行されるが、これによって銀行の合併が相次ぎ、1933年には関西の旧国立銀行3行が合同して (99) (100) 銀行が成立した。そして戦時経済体制へと向かう中、1943年には (71) (72) 銀行と (77) (78) 銀行が合併し (101) (102) 銀行となったが、これは戦後再び分離している。

1945年、敗戦とともにGHQは特殊銀行等の解体にも着手した。(103) (104) 内閣が金融緊急措置令を行った1946年に、(89) (90) 銀行は普通銀行に改組して (105) (106) 銀行として再発足し、その後外国為替専門銀行に転換した。また財閥解体とともに財閥系とみなされた銀行は財閥名の使用を一時禁止され、1948年 (81) (82) 銀行は (107) (108) 銀行と改称した。その後も更なる合従連衡が繰り返され、今日のメガバンクが形成されてくるのである。
(シ)

[A] 文中の空欄 (71) (72) ～ (107) (108) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は10の位を、右側は1の位を表す。例えば、空欄 (71) (72) の解答が19だとしたら、解答欄 (71) には1をマークし、解答欄 (72) には9をマークしなさい。

《語群》

11 愛知	12 足尾	13 伊藤	14 大阪	15 片山哲
16 家禄	17 協和	18 義和団事件	19 金禄公債証書	20 甲申事変
21 鴻池	22 神戸	23 国際協力	24 小坂	25 埼玉
26 さくら	27 三和	28 幣原喜重郎	29 賞典録	30 壬午軍乱
31 住友	32 第一	33 第五十六	34 第三	35 第三十八
36 第三十四	37 第二	38 第一百五十三	39 太陽	40 第四
41 大和	42 台湾	43 千代田	44 朝鮮	45 帝国
46 東海	47 東京	48 名古屋	49 日清戦争	50 日本
51 日本開発	52 日本勧業	53 日本興業	54 日本債券信用	55 日本政策投資
56 日本長期信用	57 日本貯蓄	58 日本不動産	59 日本輸出	60 日本輸出入
61 農工	62 野村	63 東久邇宮稔彦	64 日立	65 富士
66 別子	67 みずほ	68 三井	69 三菱	70 民部省札
71 安田	72 山口	73 横浜正金	74 吉田茂	75 りそな

[B] 文中の空欄 (i) ～ (m) に入る最も適切な人物について、姓名を全て漢字で解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

[C] 下線部 (サ), (シ) の語句に関する以下の設問に対する最も適切な人物について、姓名を全て漢字で、解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

(サ) その後この銀行法は、1981年に抜本的に改正されるが、そのときの内閣総理大臣は誰か。

(シ) そのきっかけの一つとなった金融ビッグバンを打ち出した内閣総理大臣は誰か。